

1面からのつづき

北海道遠紋地区支部

第一回秋季善行受賞者合同祝賀会の開催

十二月九日午後四時より遠軽町ホテルサンシャインにおいて、一般社団法人日本善行会第一回遠紋地区支部秋季善行受賞者十名の合同祝賀会を開催いたしました。

受賞者十名を含め百三十名の出席のもと、司会のあいさつで受賞者の入場、支部長より各受賞者に対し賞状の授与、受賞者の家族より花束の贈呈があり、本吉副支部長より来賓の紹介、藤田支部長より支部設立の経緯と目的の報告、受賞者の功績と活動概要につ

いて説明がありました。次いで、日本善行会相澤克也副会長より日本善行会の歴史の説明と、支部の創設と地域での発展活躍についての激励があり、あわせて受賞者に祝辞が述べられました。続いて、佐々木修一遠軽町長、武部新衆議院議員代表、新沼透北海道議会議長、久保秋雄北海道議会議長の祝辞を賜りました。受賞者十名を代表して長田洋之氏が感謝の謝辞を述べ、石田昭廣湧別町長の乾杯の発声により祝宴が始まりました。

余興は受賞者、来賓者より詩吟、剣舞、演歌があり盛況のうち黒澤猛北見支部長より閉会の辞があり、受賞者のご活躍と参会者のご健勝を祈念、万歳三唱のうち閉会となりました。

受賞者一覧(敬称略)

公共生活への貢献
近藤優子・畑山厚子・斉野善二郎・西清治・留田徹
須藤順一
青少年の指導
松井貴・長田洋之・吉田博之
社会福祉
中川幸子



平成29年度 日本善行会遠紋地区支部 第一回秋季善行受賞者合同祝賀会

山梨県甲府支部

交通安全功労団体表彰

支部長 長田 玉夫

平成三十年一月十二日甲府市コナニ文化ホールにて、長年交通安全週間に対し、善行会祈願のパンフレットなどPR活動に参加が認められ、山梨県警察本部長、山梨県交通安全協会会長より表彰状と記念品を代表して授与されました。



交通安全功労団体表彰授与式

宮城県支部

表彰受賞者等との祝賀会開催

恒例行事である表彰受賞者(青少年、国際貢献者、銀章、成人、皇太子殿下とのご接見)の方々と会員の有志に案内しての祝賀会を、去る平成二十九年十二月九日(土)午前十一時から午後一時三十分仙台市内の中心地にあるホテルの貸ホールにて開催した。

当日は天候にも恵まれ総勢四十五名の参加者で祝賀、終始参加者同士の友情も深め合うことができた。有意義な一時でした。始めるにあたり先に記念写真を済ませてから本支部の表彰式に出席できなかった方々に飯田支部長から表彰状の伝達、受賞者等の紹介、支部長の挨拶の後、顧問の中沢幸男



宮城県支部 表彰受賞者等との祝賀会

善行川柳

選者 東 逸平

○空腹熊 冬眠忘れ 街散歩 北海道 齊藤 勉
評/時にはこういう視点からの発想も良いですね。ユーモアがあって、これでもかこれでもかと頑張り過ぎない心のゆとりから、明るい善行が生まれてきますよ。

○ひなまつり いくつになっても 古い祝いに 東京都 鎌倉 湖
評/思わず笑みがこぼれますよ。思いきって「古い祝い、いくつになっても、ひなまつり」と字句を上下に逆転してみたら「古い祝い」にルビを振らずにすみますよ。

○花眺め 心に栄養 贅沢に 静岡県 真野 和代
評/《心に栄養》なんと新鮮なフレーズでしょうか。

○後期高齢 できる程度の ボランティア 香川県 丸野 忠義
評/そうですよ。できる程度が良いのですよ。あんまり張り切ると皆が心配しますよ。ゆとりを持ってボランティア活動を進めましょうよ。

○交流会については、人々とともに、水辺に隣接している特徴を生かすなどの環境との調和を目指す。
○会場については、人々とともに、水辺に隣接している特徴を生かすなどの環境との調和を目指す。
○会場については、人々とともに、水辺に隣接している特徴を生かすなどの環境との調和を目指す。

群馬県北毛支部

秋季善行表彰伝達式・祝賀会及び「児童養護施設への餅つき慰問」の実施

十二月三日(日)午後六時から、伊香保温泉千明仁泉亭に、秋季善行表彰を受賞された個人八名及び皇太子殿下の御接見の栄に浴した七名を招い



群馬県北毛支部 秋季善行表彰伝達式・懇親会

て、会員四十六名の出席のもとに秋季善行表彰式・祝賀会を開催した。秋季善行表彰受賞者八名全員が明治神宮参集殿での全国表彰式に参列したほか、伝達式にも全員が参加するなど、善行表彰に関する意識の高さが示され、改めて会員とともに受賞を祝した。島村支部長から、改めて受賞者の功労内容を紹介し、支部からの記念品を添えて表彰状の伝達を行い、併せて日頃の善行活動への謝辞と今後の活動への理解と支援をお願いした。その後、皇太子殿下御接見者を加えた受賞者等全員から善行活動内容、及び皇太子殿下御接見時の感想等を発表していた。和やかな祝宴となり、善行活動を更に広める等、大きな成果をあげて

終了した。善行表彰伝達式当日の午前中、支部発足以来継続して実施している「児童養護施設への餅つき慰問」を実施した。午前九時三十分から正午までの間、島村支部長以下会員四十八名が参加した子供たちと一緒に準備に取りかかった。施設で共同生活している子供たちも「親のいない子供や親がいても親と一緒に住めない子供たち」である。もう十六年を迎えたことから、会員と子供たち、いずれも顔なじみとなってきた。高校生、小学生、幼稚園児等、それぞれの年代に応じた役割分担をして、子供たちも「善行会のおじさん、おばさん」等と親しみを



児童養護施設への餅つき慰問

年々強く感じられる。準備も万端整い、米が蒸し上がって、餅つきが始まると、臼の周りを囲み「よいしょ!、よいしょ!」とかげ声をかけあつて、三十キロからの米をたちまちつき上げた。ついた餅は、会員、子供が一緒に大福、きな粉餅、からみ餅、納豆餅などを作り、自分で作った餅を味わった。こんな慰問を行い、楽しい一日を過ごした。

ふる里白慢

大阪府支部

2025年万博は大阪・関西で!



大阪府支部 2025年万博は大阪・関西で!

「皆で世界を動かす万博」という理念のもと事業展開を進め、国際博覧会を一時のイベントに留めることなく「未来の社会・経済システム」の実現を通じて成果を後世に残せる博覧会である。

実施の方向性
◎様々な娯楽やメディアが溢れる中、世界中の人々、企業、国等が参画

「皆で世界を動かす万博」という理念のもと事業展開を進め、国際博覧会を一時のイベントに留めることなく「未来の社会・経済システム」の実現を通じて成果を後世に残せる博覧会である。



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO2025